

当社は、地球温暖化防止・気候変動対策に資する事業の資金調達手段として、当社初となる「グリーンローン」による資金調達を実施することとし、2024年8月に三井住友信託銀行株式会社とシンジケーション方式による融資契約を締結しております。本件に関する調達資金の充当状況および年次レポーターについて、以下のとおりお知らせいたします。

対象プロジェクト概要		実績数	調達資金の 充当状況	インパクト・レポーティング	
鉄道車両の 省エネルギー化	中央線新型車両 (400系) の導入 	使用電力を削減するための回生ブレーキを装備した「VVVF (Variable Voltage Variable Frequency) インバータ制御」に加え、同制御装置にSiC (Silicon Carbide) 素子を使用、また車内照明にLEDを取り入れ、更なる省エネ化を図っています。	12編成	(リファイナンス) 2023年度 157億円	・ 想定CO ₂ 排出量削減効果 2024年度：755 t - CO ₂ ※1
			4 編成	(リファイナンス) 2024年度 59.6億円	
低炭素輸送機器、 関連設備の導入	EVバスの導入 	走行中の温室効果ガス排出量削減と脱炭素に向けて、EVバスの導入を順次進め、2035年を目途に全車両のEV化を目指します。 また、EVバスは騒音が少なく、乗り心地に優れていますので、より快適にお客さまにご利用いただけます。	94台	(リファイナンス) 2022年～23年度 33.4億円	・ 想定CO ₂ 排出量削減効果 2024年度：191 t - CO ₂ ※2
合計				(リファイナンス) 250億円	・ 想定CO ₂ 排出量削減効果 2024年度：946 t - CO ₂

※ 1：中央線20系・24系との比較。車両原単位（車両1両が1km走行するための電力消費量）や2024年度の年間走行キロ等を基にした推計値。
CO₂排出係数は、0.000419t-CO₂/kWh（2023年度電気事業者別排出係数）を使用。
※ 2：当社グループの路線バス・オンデマンドバス（ディーゼル）との比較。2024年度のEVバス年間走行キロ等を基にした推計値。CO₂排出係数は、同上。